

## 北湖におけるホンモロコ産卵の傾向について

寺井章人

### 1. 目的

当場ではこれまでからホンモロコの産卵状況調査を実施しており、その産卵量と産卵時期、水温の関係を整理することで産卵傾向を把握し、本種の再生産助長に資する。

### 2. 方法

内湖および北湖沿岸 6 地点、伊庭内湖、西の湖、大津市小野、守山市今浜、高島市針江および長浜市延勝寺の 2018～2021 年(守山市今浜については 2019～2021 年)の産卵状況調査結果から、各年の総産卵数に対する時期毎の産卵数の割合(%)を求めた。また、各調査地点で水温ロガーにより 1 時間ごとに測定、記録した水温データから日間平均水温を算出した(一部、ロガー紛失等により記録なし)。

### 3. 結果

各年の総産卵数に対する時期毎の産卵数の割合から、産卵が集中していた時期ほど濃い色で着色し、産卵開始および産卵盛期の日間平均水温を図に記した。

2019 年、2020 年は産卵期間が長期間に分散し、2018 年および 2021 年は産卵期が短期間に集中する傾向が見られるなど、年により傾向が異なるが、内湖に比べ北湖沿岸では産卵が短期間に集中する年が多く見られた。各年とも産卵は内湖から始まり、北湖南部西岸から北湖南部東岸、北湖北部西岸、北湖北部東岸へと進んでいく傾向が見られた。

概ね 20℃で産卵盛期を迎えることは、過去の飼育実験結果<sup>1)</sup>とも一致し、天然水域でも水温が本種の産卵に影響することが示唆された。一方、産卵開始時は 11.8℃～19.2℃と年、水域等にばらつきが大きく、水温以外の要因も産卵に影響している可能性が考えられた。

年	調査地点	3月		4月		5月		6月		7月	
		中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬
2021年	伊庭内湖(内湖)		17.4	20.6							
	西の湖(内湖)	13.9				20.8					
	大津市小野(北湖南部西岸)			16.0		18.5					
	守山市今浜(北湖南部東岸)		13.7					21.4			
	高島市針江(北湖北部西岸)					17.1		21.6			
	長浜市延勝寺(北湖北部東岸)					19.2	20.4				
2020年	伊庭内湖(内湖)	13.5						22.3			
	西の湖(内湖)	12.9				20.6					
	大津市小野(北湖南部西岸)			13.4	17.6						
	守山市今浜(北湖南部東岸)		13.6					23.4			
	高島市針江(北湖北部西岸)				17.0			20.1			
	長浜市延勝寺(北湖北部東岸)										
2019年	伊庭内湖(内湖)	12.8					22.2				
	西の湖(内湖)	11.8				22.2					
	大津市小野(北湖南部西岸)			15.9	19.8						
	守山市今浜(北湖南部東岸)		13.2					22.1			
	高島市針江(北湖北部西岸)										
	長浜市延勝寺(北湖北部東岸)				15.6			22.0			
2018年	伊庭内湖(内湖)		16.2				20.3				
	西の湖(内湖)		15.9				20.7				
	大津市小野(北湖南部西岸)								23.1		
	高島市針江(北湖北部西岸)										
	長浜市延勝寺(北湖北部東岸)					16.9			22.3		

図 年別ホンモロコ産卵状況

産卵が集中した時期ほど濃く着色

図中の数値は産卵開始時もしくは産卵盛期の日間平均水温(℃)

引用文献 1) 藤岡・田口・亀甲(2013). 多回産卵魚ホンモロコの産卵時期・産卵回数・産卵数. 日水誌 79(1)